

令和7年度 第4学年 授業改善推進プラン

	伸ばしたい力(児童の実態、学習状況、指導の実態より)	改善プラン(課題の改善プラン、具体的手立て)
国語	・新出漢字の確実な定着。 ・物語文や説明文を読み、内容を捉える。 ・自分の考えをしっかりとち、文章に書く。	・漢字小テストを1回だけでなく、複数回取り組む機会を設ける。 ・物語文、説明文を読み取る際の指導事項を系統立てて指導していく。読み取り方や構造を伝え、どの文章でも活用できる力を身に付けさせる。 ・<u>学習者用デジタル教科書を活用し</u>、文の構造や読み取った内容を効果的にまとめ、自分の考えを表現する。 ・自分の考えを書く時間を十分にとり、下書きに取り組む。個別指導を充実させ、自分の考えに自信をもたせる。また、意見交流する機会を多くもち、よい表現を皆に紹介する。
社会	・学習問題に対して、既習事項や生活体験を根拠に予想したり、見通しをもったりする。 ・単元の中で学習したことを実生活に生かす。 ・資料を読み取る力を伸ばす。	・児童から出てきた興味・関心、疑問を生かし、問題解決的に学習を進めていく。 ・児童の身近な生活と学習内容を結びつけて考えていけるように授業を展開していく。 ・<u>図やグラフなどの資料を読み取る活動を取り入れていく。</u>
算数	・基礎的な知識や技能の確実な習得。 ・課題である「図形」や「データの活用」の定着。 ・自分の考えを明確にし、図や表、式、言葉などに表す。	・朝学習の時間を活用し、「東京ベーシック・ドリル」を用いて「図形」や「データの活用」の習熟を図る。 ・授業では、教科書付属の<u>デジタルコンテンツや教科書の補充の問題を活用し</u>、学習内容の定着を図る。 ・課題解決の際、わかっているもの、求めているものがそれぞれ何かを確認する時間を設ける。 ・児童が互いの解決方法や考えにすすんで関わり、共有できるよう発問を工夫して話し合い場面の充実を図る。
理科	・興味関心をもち、主体的に取り組む。 ・結果と考察を区別して考える。	・身近な題材を取り扱い、主体的に取り組めるようにする。また、普段の生活の中で学びを意識できるように、身の回りの事象と関連付けて指導をすすめる。 ・<u>結果と考察の違いを理解させ</u>、理科的思考を定着させる。また考察をまとめる道筋を示したり、ヒントを与えたりすることで自ら学べていることを実感させる。
音楽	・自然で無理のない歌い方で、のびのびと声を出して歌う。歌詞に込められた意味を考え、自分の思いをもって合唱する。 ・範奏を聴いたり楽譜を見たりして演奏する技能を身に付け、合奏することを楽しむ。 ・お互いの音を聴き合い、思いや意図をもって表現する。 ・鑑賞では、曲や演奏のよさなどを見だし、味わって聴く。	・呼吸や発音の仕方に気を付けて歌う声かけをするとともに、お互いの表現の良さを認め合える雰囲気づくりを心掛ける。歌詞に込められた思いや曲の構成を考えるなどして歌い方の工夫をしていく。 ・器楽では演奏動画や音源等も活用し<u>範奏を示す</u>とともに、<u>個に応じた指導</u>を行い演奏する技能を身に付けさせる。 ・<u>即興的に表現する活動等</u>を通してお互いの音を聴き合ったり重ねたりする楽しさを味わう。 ・鑑賞では、「<u>共通事項</u>」をもとに、<u>聴き取ったことや感じ取ったことを言葉で表現し</u>、友達と意見の交流をしていく。
図工	・一つの活動に対して共同で仕上げようとアイデアを出し合ったり、認め合ったりする。 ・題材に対して自ら進んで前向きに取り組む。	・いつでも児童相互に鑑賞ができるよう、作品写真をタブレット内に保管しておく。お互いの活動の良いところを参考にしながら、自分の思いをより深めながら実現していく。 ・使える道具や材料が増えたことに合わせて、それらを適切に扱えるように安全指導を徹底して行う。
体育	・前向きに学習に取り組む。 ・勝敗だけではなく、チームとしての役割や、相手を讃えることを大切にする。 ・うまくいかなくても諦めずに最後まで取り組む。	・自分ができるようになったことを実感し、技能の高まりを楽しむことができるようにする。 ・勝敗のみでなく、それまでの<u>過程や、友達と協力して取り組むことの良さを実感</u>できるゲームや<u>ルールを設定</u>する。ゲームでは、児童の気付きをもとにルールを変更していけるように、はじめは簡単なルールにしておく。 ・運動の楽しさに気付けるように<u>提示の仕方を工夫</u>する。運動の過程を評価し、<u>ICT 機器を活用し</u>動きの高まりを共有する。
外国語	・恥ずかしがらずに発音の練習をする。 ・英語を使って進んでコミュニケーションをとる。	・<u>教員が率先して発音</u>することで児童が発音しやすい環境を整える。また、何度も繰り返して発音をする場を設定して英語に慣れさせる。

活動		・間違っても良いという雰囲気作りをする。その上で、<u>必要な話型について指導</u>し、相手の顔を見て話したり、聞いたりするコミュニケーションの仕方を指導する。
道徳	・それぞれの課題について自分事としてとらえる。 ・自分の考えを伝え合い、深める。	・授業の最後の振り返りを充実させる。自分のこれまでの経験と教科書の内容を照らし合わせて<u>振り返る時間を十分にとり</u>、ワークシートまたはパソコンで振り返る。 ・書く、話す、交流する等様々な表現方法で児童の考えを引き出せるようにする。